

嬉野市新庁舎建設設計業務プロポーザル審査結果

I. 選定結果

プレゼンテーション・ヒアリングの内容を基に受託候補者を次のとおり選定した。

受託候補者 株式会社佐藤総合計画 九州オフィス

II. 選定の概要

嬉野市新庁舎建設設計業務を委託するに当たり、高度な設計能力及び豊富な経験を有する設計者を選定するため、嬉野市新庁舎建設設計業務プロポーザル実施要領に基づき参加資格を満たす者を募集し、嬉野市新庁舎建設設計業務プロポーザル選定委員会による選考を経て、受託候補者を選定した。

III. 選定委員の構成

役 職	氏 名	団 体 名 等
委員長	三島 伸雄	佐賀大学 副学長、理工学部教授
副委員長	早瀬 宏範	嬉野市 副市長
委員	松尾 浩幸	佐賀県 県土整備部 建築住宅課 施設整備室室長
委員	三根 竹久	嬉野市 総合戦略推進部長
委員	井上 元昭	嬉野市 建設部長

IV. 選定の経過

令和5年4月 3日（月） 公告（公募開始）
令和5年4月18日（火） 参加表明書等の受付期限
令和5年4月19日（水） 一次審査（参加資格審査）
令和5年5月31日（水） 技術提案書等の受付期限
令和5年6月10日（土） 二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）

V. 選考方法

1. 一次審査

プロポーザル募集の公告を行ったところ、3者から参加表明書等の提出を受けて、資格審査を行い、参加資格を有する者に技術提案書等の提出を求めることとした。

2. 二次審査

技術提案書等によりプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、下記評価項目について、審査を行った。

- i. 業務の実施方針・実施体制・工程表の妥当性、実現性、的確性、柔軟性
- ii. テーマ別技術提案
 - テーマ①「防災・災害対策拠点としての機能を発揮できる庁舎」
 - テーマ②「環境に配慮した庁舎（省エネルギー化等）」
 - テーマ③「機能的・効率的で、経済的に優れた庁舎」
- iii. ヒアリング内容

3. 受託候補者の選定理由

選定に当たっては、課題に対する技術提案内容を評価するとともに、本事業に対する理解度や業務体制等を確認し、審査委員の総意をもって受託候補者としての設計者チームの選定を行った。選定に至った主な理由は次のとおりである。

技術提案として、総合的に市や当該敷地の置かれた状況の分析、分析を踏まえた技術の整理・総合化に優れていた。特に、厳しい工期の中で ZEB 認証とコスト削減を実現させる提案、構造上の工夫、円滑な業務遂行のためのプラン等において、より実現性があり、説得力が高かった。

課題も残っており、提案書にあった広場や太陽光パネル等、より市民に喜ばれる建築と外構、周辺との関係構築等についてさらにご検討をいただき、優れた庁舎の実現をお願いしたい。